

CAMPUS HEALTH

2020.6

57 (2)

特集：学生の健康白書
論文集



Japan University Health Association

目 次

巻頭言

| | | |
|-----|-------|---|
| 巻頭言 | 川 村 孝 | 1 |
|-----|-------|---|

特集 《学生の健康白書》

| | | |
|-----------------------------------|-----------|----|
| はじめに - 健康白書の意義 - | 石 黒 洋 | 2 |
| 『学生の健康白書』の疫学と有効利用 | 川 村 孝 | 5 |
| 女子の“18才体重ギャップ”～BEYOND 成長曲線～ | 山 本 祐 二 | 11 |
| 国立大学の学生の血圧と脈拍数-学生健康診断から見た30年間の推移- | 丸 山 徹ほか | 17 |
| 大学生の定期健康診断における尿検査の意義と課題 | 小 澤 祐 加ほか | 23 |
| 大学生の肝機能と BMI | 山 本 明 子ほか | 29 |
| 大学定期健康診断における心電図検査の意義と課題 | 川 村 祐一郎 | 36 |
| 定期健康診断における胸部 X 線検査の意義 | 潤 間 励 子ほか | 40 |
| 生活習慣 | 藤 川 哲 也 | 44 |
| 精神健康調査の実施状況-調査の限界と今後の課題- | 早 川 東 作 | 51 |
| 心理相談における転帰について | 古 川 卓 | 56 |
| 学部学生の死亡調査の結果から | 布 施 泰 子 | 64 |
| 大学院生の自殺について-16年間の調査から- | 丸 谷 俊 之ほか | 68 |

原著論文

| | | |
|--|-----------|-----|
| 大学生における熱中症および熱中症対策の実態調査 | 工 藤 欣 邦ほか | 74 |
| 薬学実務実習開始日における麻疹抗体価推測の試み | 小 野 真 一ほか | 81 |
| ムンプス抗体陽性率低下の要因研究 | | |
| -2008～2018年における医学部新入生のムンプス抗体調査- | 和 泉 恵 子ほか | 89 |
| 大学保健センターで実施してきたダニ媒介性脳炎ワクチン接種の安全性についての報告 | 川 原 由佳子ほか | 95 |
| 健康診断結果からみる留学生健康問題とその支援-115か国の学生16年間のまとめ- | 田 中 ゆ りほか | 101 |
| 保健センター（学生相談室・医務室）における学生支援： | | |
| 臨床心理士，精神保健福祉士および看護師の連携 | 長 チノリほか | 108 |
| アルバイト，睡眠，インターネット依存が講義への興味・成績，健康感に及ぼす影響 | 大 見 広 規ほか | 115 |
| 大学生はどんなライフスキルを獲得したいのか～岐阜大学での質問紙調査から～ | 堀 田 亮ほか | 122 |
| 半構造化面接調査による大学生が求めるライフスキルや知識の探索的検討 | 堀 田 亮ほか | 128 |

| | | |
|--|---------|-----|
| 大学生集団における過剰飲酒を助長する要素・抑制する要素とその相互関係 | 和山郁美ほか | 134 |
| 大学生のメンタルヘルス状況と身近な相談環境に関する調査より | 田中生雅ほか | 142 |
| 発達・精神障害学生の居場所支援および学習支援におけるピア・サポートの活用 | 早坂浩志ほか | 148 |
| 精神障害学生の根拠書類としての「主治医意見書」の作成 | 諏訪絵里子ほか | 154 |
| 精神障害学生に対する根拠書類の運用プロセス～「主治医意見書」の在り方から考える～ | 諏訪絵里子ほか | 161 |

報告

| | | |
|---|---------|-----|
| 主体的な学修態度と協調性の関連－交差遅延効果モデルによる検討－ | 永井暁行ほか | 169 |
| 米国大学保健管理年次研究集会（American College Health Association; ACHA 2019）の参加報告 －日米共同セッション（Joint Session between JUHA and ACHA）を中心に－ | 山本眞由美ほか | 177 |
| Health Center at Auraria の見学報告－国際連携委員会より－ | 山本眞由美ほか | 183 |

機関誌編集委員会からのお知らせ…………… 189

CAMPUS HEALTH (2) 投稿規定（投稿論文チェックリスト，承諾確認書，症例報告ガイドライン・同意書，COI 申告書）…………… 190

あとがき…………… 198

巻頭言

京都大学名誉教授、(公社)全国大学保健管理協会代表理事 川 村 孝

2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行で尋常ならざる状況で幕を開けました。いずれの会員校においても、保健管理担当者はその対応に追われたことと思います。

一段落したら、国立大学法人保健管理施設協議会から過去に出された「学生の健康白書」のページを繰ってみましょう。学生の身体・精神面のデータブックです。一見、数字や文字の羅列のように見えますが、実は学生の内面を語る貴重な資料です。

どんなことが書かれていて、どう読むか。本特集号で各方面の専門家が解きほぐします。事実を踏まえて将来を考える。そして大学保健を進化させていきたいものです。